

視点

View Point

はま た み え
濱 民恵 氏

長野県社会保険労務士会北信支部支部長
社会保険労務士法人SRK代表

労働人口の減少が企業と日本の未来にとって大きな課題となるなか、誰もが、どのような働き方であっても、安心して働くことのできる環境づくりが求められています。いわゆる働き方改革に向けた法改正も進み、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。社会保険労務士は労働管理の専門家として「人を大切にする企業づくり、社会づくり」を使命に、個々の企業の働き方改革を法令遵守と実務面でサポートしてまいります。

人を大切にする企業と社会づくりを使命に 働き方改革を法令遵守と実務面でサポート

働き方に関わる法が今、大きく変わっている

企業を取り巻く今の環境について、どうお考えですか。

濱 政府は今、「新しい資本主義」の方針のもと、構造的な賃上げ、成長のための投資と改革等を重点項目に掲げています。また、全世代型社会保障制度の構築に向けて、どのような働き方でもセーフティネットが確保され、安心して働くことができる社会保障制度の必要性から、被用者保険の適用拡大などの促進がはかられています。

一方、企業経営においては、個人が所有する人的資本（スキル、知識、経験、ノウハウ、健康状態など）を経済的価値のある資源と位置づけ、人材を育成し、活性化させることで企業の生産性を向上させ、構造的な賃上げにつながる好循環を生み出すことが重要になっています。

これらを背景に、労働に関わる法改正がここ数年で行われ、企業を取り巻く環境はとも大きく変化しています。昨年4月には、育児休業取得状況の公表義務、働き方改革関連法の割増賃金率の引き上げ、職長等の安全衛生教育の対象業種拡大、給与（賃金）の電子マネーでの支払いが定められました。

今年4月には労働条件明示事項の追加、トラック輸送業界、建設業における働き方改革関連法、障害者雇用、労働基準法、化学物質管理者の選任の義務化で法改正がありました。今後も、秋に年金改革法、マイナンバー法一部改正があり、来年以降も雇用保険法、育児・介護休業法、高齢者雇用安定法、障害者雇用促進法で改正が待っています。企業はこうした法改正に伴う変更への

PROFILE

平成21年12月社会保険労務士登録。長野市男女共同参画審議会委員長3期就任。北信支部研修委員・労働審査特別委員会などを経て令和5年度支部長就任。

対応が迫られます。

社会保険労務士は 労働管理の専門家

働き方改革に向けて、社会保険労務士の皆さんはどのような役割を果たすのでしょうか。働き方改革とは、「一億総活躍社会」を実現するための改革です。労働者が多様な働き方を選択できる環境を整え、自分の未来を自分で創っていく「夢」のある社会を目指すとともに、企業に生産性、収益性の向上をもたらし、持続可能な社会を目指すためのチャレンジなのです。2017年3月の働き方改革実現会議において働き方改革実行計画が決定し、翌年にはいわゆる働き方改革関連法が成立しました。

社労士は労働管理の専門家です。社労士法第1条には、「労働及び社会保険に関する法令の円滑な実施に寄与するとともに、事業の健全な発達と労働者等の福祉の向上に資することを目的とする」とあります。つまり、働き方改革を法令遵守と実務面からサポートすることは、社労士が使命とする「人を大切にする企業づくり、社会づくり」に向けた実践そのものです。

一方、働き方改革にどう取り組むべきか分から

ない中小企業が多いことも事実です。社労士は、長時間労働を是正することによる生産性の向上、同一労働同一賃金の課題整理、育児・介護中の労働者の雇用継続、治療と仕事の両立支援、外国人や高齢者の雇用促進の取り組み等において、労使双方の意識改革からスタートし、それぞれの企業の課題に対してきめ細かに支援しています。さらに、働き方改革を二歩進めた「働きがい改革」として、従業員が熱意や意欲を持って毎日の仕事に取り組み、幸福度を高める職場環境づくりのお手伝いもしてまいります。

価値創出や変革の源泉は、 やはり「人」

長野県社会保険労務士会北信支部の取り組みについて教えてください。

濱 長野支部は210会員が所属する県内最大の支部で、事務局の他に6つの委員会と1つの部会があり、各々の事業を担当しています。

総務委員会は、定期支部会や役員会、会員交流会の開催、労働相談会への相談員の派遣、県会からの委託事業等官公庁との連携事業、他の士業との連絡会を実施しています。研修委員会では支部会員に向けた研修会を開

DATA

長野県社会保険労務士会 北信支部
【所在地】長野市金井田110-1
【TEL】026-217-3680

横顔

10年前からダンスに親しみ、長男と長女の家族それぞれに生まれたお孫さんの成長を楽しんでいます。